



**井野川流域の防災対策**  
大河原 吉明  
(新風会)

**質問** 7月の集中豪雨や台風19号で浸水被害のあった井野川下流域の雨水対策の進捗状況と今後の展望は。

**答弁** 宿大類工業団地の外水対策として県が進める堤防整備が、来年3月に完成予定である。内水対策としてのパイパス排水路工事は、6月末の完成に向け整備を進めている。また、元島名町の井野川沿いの地区では、来年度実施予定の雨水対策工事に向け、調査や測量を実施し、年明けから施工などを県と協議予定である。

**質問** 本市のコミュニティスクールの現状やさまざまな団体との連携は。

**答弁** 本市では北小、京ヶ島小、吉井西小がコミュニティスクールとなつている。そこでは教員、保護者、地域住民からなる学校運営協議会を設置し、学校経営や教育活動について意見交換を行い、子どものために協働している。今後も保護者や地域の意見を聞きながらより良い連携の在り方を研究していく。



**福祉・医療・保健の連携**  
荒木 征二  
(市民クラブ)

**質問** 支援が必要な母子の早期発見が重要であるが、本市の取り組みは。

**答弁** 心療内科や精神科等への受診歴があり、精神的に不安定な妊婦には保健師や助産師の支援を開始する。助産師訪問指導事業では、助産師がエジンバラ産後うつ質問票などにより産婦の精神状態や育児負担、ストレス

レス状況を確認し、緊急時には市の保健師と連携して支援する。今後も産前産後の支援により悩みを抱える母子のケアに取り組みたい。

**質問** 職員が適切に職務を遂行できる環境づくりに対する市の見解は。

**答弁** 現在、管理職に対する職場マネジメント能力向上の研修や上司と部下の面



食の文化に関わる体験学習



**学校教育諸課題**  
堀口 順  
(市民クラブ)

**質問** 榛名林間学校で、日本食をテーマとした体験学習を取り入れてはどうか。

**答弁** 林間学校では、火おこし体験や野外炊飯、枝を使ったスプーン作りなどの活動をしており、食を考えることにつながっているとされる。また、各学校ではおつきりこみ作りや古代米作りなど、伝統的な食文化に関わる取り組みを行っており、林間学校での取り

談を実施し、職場環境整備に努めている。また、事件の反省を踏まえ、弁護士をトップとしたコンプライアンス室を設置し、コンプラ

イアンス意識の向上を図るとともに職員が安心して働く環境の整備につなげていきたいと考えている。



**本市の農業振興施策**  
丸山 芳典  
(新風会)

**質問** 就農者確保のための取り組みや地域の特性を生かした市独自の支援策は。

**答弁** あらゆる世代に農業の魅力をPRするため、7月からインターネットを活用した農Tube高崎を配信している。また、6次産業化や農産物のブランド力向上のための補助金制度を創設し、農業者の収益向上の取り組みを支援している。地域特産のはんでえ米のブランド化に向けた外袋の開発などに利用されている。

**質問** 農業所得の向上や成長産業化に向け、海外進出も含め実施している施策は。

**答弁** 農業者の所得向上を図るため、大規模商業店舗での直売コーナーへの出荷や首都圏の大規模商談会での販売に対する支援を行っている。さらに本年8月には、シンガポールに海外輸出の拠点となる現地法人高崎トリニオンを設立し、現地の百貨店での営業活動やレストランとの取引を始めた。引き続き着実な成果が得られるよう取り組みたい。



**地球温暖化防止における取り組み**  
長壁 真樹  
(新風会)

**質問** 本市の地球温暖化防止対策の取り組みとぐんま緑の県民税の財源配分は。

**答弁** 2011年に地球温暖化防止対策実行計画「グリーン・クリーンたかさきアクションプラン」を策定、森林資源を保全するための森林整備や3Rを推進し、ごみの減量化、資源化により温室効果ガスの抑制に努めている。また、緑の県民税は本市の里山元気再生事業や森林環境教育事業等に充てられ、これまでに約8600万円交付されている。

**質問** 道路標示や標識を施工する所管は。また、右折レーンが設置できない交差点への時差式信号機の設置の考えは。

**答弁** 学童注意などの注意喚起に関する文字表示や幅員減少などの警戒標識は本市が、止まれる文字や横断歩道などの規制標識は県公安委員会が設置している。また、信号機の設置は警察の所管となるため、現地の状況を把握した後に、警察へ検討を働きかける。



**立地適正化計画**  
依田 好明  
(日本共産党)

**質問** 水害が相次ぐ中、立地適正化計画の居住誘導区域内にハザードマップで示された洪水浸水想定区域が含まれているが市の考えは。

**答弁** 災害リスクの高い洪水浸水想定区域は、都市計画運用指針に基づき、居住誘導区域から除外している。ただし、新町地域は洪水浸水想定区域に含まれてい

るが、既に市街地が形成されておき、コンパクトシティの考え方に合致するため、居住誘導区域に指定する考えである。

**質問** 学校や社会教育施設のトイレの洋式化の進捗状況と、今後の整備計画は。

**答弁** 市内小・中学校83校のトイレの洋式化率は、職員用も含め、現在50・4%



**上野三碑の今後の振興施策**  
清水 明夫  
(新風会)

**質問** 上野三碑がユネスコ世界の記憶登録後2周年を迎えたが、記念事業の内容は。

**答弁** 11月3日に上野三碑の扉を開く特別公開を行い、昨年を上回る見学者があった。多胡碑記念館では天平衣装体験や古代の糸つむぎ体験などのイベントも行った。さらに11月末に上野三碑をつなぐ会により子ども向けイベントも開催するな

ど、引き続き民間団体と連携し三碑の普及に努めたい。

**質問** 国は今の時代に合った働き方改革の取り組みを進めているが、この改革の内容は。

**答弁** 一億総活躍社会を作るための最大のチャレンジとされており、改革の柱の第一としては、同一労働、同一賃金の実現で、正規・非正規の形態に関わらない均等、均衡な待遇の確保。第二は、長時間労働の是正として雇用の継続延長や定年引き上げに向けた環境整備。これらの就労支援の充

**答弁** 県内でも出荷が始まっているが、今のところ、これまでどおりの枝肉価格で取引されており、消費者の買い控えなどもない。本市では食肉の販売促進に向け、イベントでの市内産豚肉の積極的な販売支援や農業まつりでの試食配布など消費拡大のためのPRをしている。引き続き、このような取り組みを継続し、食肉の安全性を周知したい。

**質問** 市役所の法令遵守見直しのために設置されるコンプライアンス室とは。

**答弁** 職員の職務遂行に係る法令遵守の徹底と法的に適切な職務遂行の推進を図るため、弁護士を室長に置く。事務分掌については、法令解釈の助言や不要求対策、事務の適正な執行など、職員の法令遵守の意識啓発を想定している。



山上碑の扉を開く特別公開

備。これらの就労支援の充

備。これらの就労支援の充

